

西日本旅客鉄道株式会社&ビール酒造組合共同 「適正飲酒の推進によるホーム事故防止キャンペーン」について

西日本旅客鉄道株式会社（ＪＲ西日本）とビール酒造組合※は、お酒を飲みすぎたお客様による列車との接触やホームからの転落防止に向けて、適正飲酒の推進によるホームでの安全を啓発する共同のキャンペーンを 2017 年 3 月から行っております。

2025 年度も取組みを継続するとともに、過度な飲酒が原因となる接触事故が増えていることからポスターをリニューアルし、ホームでの事故防止に努めていきます。

1. キャンペーン実施期間

2025 年 4 月 1 日（火）～2026 年 3 月 31 日（火）

2. キャンペーンの内容

- ・ 注意喚起ポスター掲出
- ・ ホームページ（ＪＲ西日本及びビール酒造組合）へ掲載

3. ポスター掲出箇所

- ・ ＪＲ西日本管内の主な駅：年間を通して掲出
- ・ ＪＲ西日本の列車内(中吊り広告)：夏期、冬期に掲出予定

4. 訴求内容

- ・ お酒に酔った状態でホームの端を歩くことの危険性
- ・ 列車との側面接触事故を未然に防止するための注意喚起
- ・ 非常ボタンの認知度向上と、危険な場面を見かけた際には非常ボタンを押下いただく



<リニューアルポスター ビジュアル>

※ビール酒造組合とは、「酒税の保全及び酒類業組合等に関する法律(酒類業組合法)」に基づき 1953 年に設立された、ビール会社 5 社(アサヒビール(株)、キリンビール(株)、サッポロビール(株)、サントリー(株)、オリオンビール(株))で構成される特別認可法人です。ビール業界の健全な発展を図るための公正競争規約の適正な運用、適正飲酒の推進、20 歳未満の人の飲酒防止、ビール酒税の減税要望、環境美化・省資源の推進活動等を行っています。